

市長と一緒にパートナーサロン

テーマ：「子育て世代に住みやすいまち、三沢市！」

日 時：平成27年10月16日（金）10：00～11：00

場 所：三沢市総合社会福祉センター2階 多目的ホール4

参加者：まちきらきらセミナー第7期生10名（講師含む）



1. 開 会

司会（開催団体）

まちきらきらセミナーで学んだことを地域に生かしたいということで、中でも子育て世代が住みやすいまちづくりに向けて市長と意見交換することで、施策に声が届けばと思い開催しました。

2. 市長あいさつ

3. 出席者紹介

- ① 子どもは1歳3か月。弘前出身。
- ② 1歳の娘。札幌市出身。三沢に住んで4年目。
- ③ 3歳の女の子、1歳の男の子。生まれも育ちも三沢市。
- ④ 1歳4か月の娘。埼玉から転勤。三沢に住んで3年目。
- ⑤ 1歳5か月の娘。北海道から転勤。
- ⑥ 小3、小1、3歳。生まれも育ちも三沢。
- ⑦ 2歳の双子のママ。群馬出身。
- ⑧ 2歳の女の子。八戸出身。三沢に住んで10年。
- ⑨ 三沢市在住。1ヶ月、10ヶ月のおばあちゃん。きらきらセミナー1期生とすることで参加して勉強している。
- ⑩ 青森県男女共同参画センター館長。司会進行。

市側出席者：市長

広報広聴課職員

4. 懇 談

① 市長が考える子育てにやさしい三沢市とは	
司会 (参加者)	<p>今、日本は女性の活躍推進法ができ、女性が頑張れる社会づくりを進めています。働いている女性はM字型就労になっていて、そこをみると30代で、子育てや出産で仕事辞めるのがまだまだ多いのが現状です。しかし、働きたい女性は10%位います。働きたいと思っている人が働く、自分の力を発揮できる社会であるべきだと思います。三沢市は、合計特殊出生率は県内2番目、高齢化率は県内1低いです。若い人がとても多いまちが三沢市です。三沢市で生活している小さい子どもをもつ女性たちが生き生きと活躍できるためには2つのポイントがあるのではないかと考えます。</p> <p>1つ目は子育て支援の充実です。働いている女性、働いていない女性どちらにも関係があります。</p> <p>2つ目は男性の家事育児への参画が大事だと思います。</p> <p>こういった観点から三沢市の状況や取り組みについて伺いたいと思います。</p> <p>では、子育てに優しい三沢市について市長の意見をお聞かせください。</p>
市 長	子育て支援ということでしっかりと自立したものではないのですが、2か所支援センターがあります。どれくらい利用しているかというデータについては後ほど。保育所に預けることができない人などがたくさんいます。「こども館」を計画していますけれども、施設そのものは活用されていて飽和状態です。ぜひとも早く「こども館」を作って、トータル的に親子で楽しめるような支援をしたいと思っています。
事務局	子育て支援センターは延べ人数で26年度年間は1万387人。組数は5309組とういう活動状況となっています。
市 長	その支援センターはどういう風な形であればいいのか具体的に聞ければありがたいと思っています。

② 子育て支援センターについての取組

参加者	<p>今、市長さんがおっしゃった支援センターについてですが、私なりに数を調べさせていただきました。数といつても市町村の大きさにもよりますので、数だけでは比較できないと思いますが、参考にしていただければと思います。</p> <p>三沢市では子育て支援センターが2か所あり、1件はサークルをメインとして、ママたちの自主的な活動を支援センターが手助けしています。それに対して、ぴこりんパークでは様々なイベントを開き、ママさんたちが親子で活動できるようにしています。三沢市は幼稚園・保育園全20か所に対して支援センターが2か所。</p> <p>比較として、おいらせ町は幼稚園・保育園全15か所に対して支援センターは5ヶ所。六戸は全4か所に対して2か所。十和田市は全30か所に対して7か所の支援センターがあります。この数からみても三沢市は支援センターが少ないのではないかと思います。おいらせ町、六戸町、十和田市は人数制限がなく、0歳児から幼稚園に入るまで何人でも受け入れています。</p> <p>三沢市はサークル活動に入ってないと行けない、人数制限が10名などの制限が多く、気軽に行けないのが現状です。おいらせ町や六戸町など他市町村に三沢市のママが行って、三沢のママがあふれている状況です。その点でも支援センターを増やしていただき、また、保育園・幼稚園などでもう少し活動して、ママたちの手助けをしてもらえないかというお願ひです。</p> <p>十和田市は離乳食教室、ダシ活など赤ちゃんの頃から食事の面でも力を入れています。三沢市でもやってはいるのですが、あまり食に関してのお手伝いをしていただけていないのが現状です。他の市町村ですとお昼ごはんの提供があり、子どもの食べ物の新しい発見にもなります。ごはんの面では子どもの肥満率もあると思うので、小さい時から食に関しての支援をしていただけるといいなと思います。私を含め、若いママさんはダシといつても市販の顆粒ダシくらいなのでお手伝いをしていただけるとありが</p>
-----	--

	<p>たいと思います。</p> <p>もう 1 点は一時預かり、休日保育です。</p> <p>一時預かりは 1 歳未満に関しては 1 か所しかありません。保育士が 2 人常駐していますが、保育士 1 人に対して子どもが 1 人なので常に飽和状態で 1 ヶ月前から予約しないと使えない状態です。歯医者に行きたいから預けたいとか、体調が悪いから預けたいと思ってもできない状態です。これも数の比較になりますが、おいらせ町は 5ヶ所、六戸町は 3 か所、十和田市も 3 か所で一時預かりをしてくれる施設があります。転勤族でおじいちゃんおばあちゃんと一緒に暮らしていないママさんが多いので、支援していただければママさんの助けになるのではないかと思います。</p> <p>休日保育も、三沢市は 1 か所しかありません。これも数の比較になってしまいますが、おいらせ町は 6 か所、六戸町は 1 か所、十和田市は 6 か所です。ママたちが仕事をはじめたくても、休日の仕事があれば選択肢に入れられないということで大幅に仕事の選択肢が減ってしまいます。数だけ申し上げましたが、現状を考慮していただいて支援をお願いしたいと思います。</p>
市 長	一時預かりとか休日保育は確かに今の数字を聞けば少ないなという気がします。これはやっぱり様々な面で問われるわけですから、現状を把握しながら、保育所のみなさんにお願いしながらやっていくことを考えなければならないと思っていました。

③ 父親の家事への参画推進について

参加者	父親の家事・育児への参画推進の取組みについて教えていただきたいです。
市長	最近は夫婦間でいろいろと浸透しているなという思いです。そのためには父親の料理の問題などいろいろと取り組んでいます。
事務局	市の方でも男女共同参画ということで、男性への家事育児への参画推進ということで取り組んでおります。「おやじのキッチン」「子育てパパの幸せ講座」「男の介護を考える」とテーマを作つて男性対象の講座や料理教室を行つています。行政以外でもお父さんと子ども対象の料理教室、父親の絵本の読み聞かせ講座、去年はカジダン・イクメンフォーラムという大きなフォーラムを市民団体の方で開催している状況です。
参加者	<p>夫の話ですが、夫は「親子のイベントはお母さんがいっぱいだから行けない。」、交流イベントに参加してみたいか聞いてみたら「公園に行けばいいでしょ。」って言われました。</p> <p>なので、この日にお父さん向けのイベントがあるから行ってきてという形になると夫は行ってこようかなとなり、1時間でも2時間でもお母さんたちは家事をする時間も増え、さらに30分早く終わらせれば、お母さんがリフレッシュする時間がてきて家庭が少しでも円満になるのではないかと思います。</p> <p>他の自治体のパパサークルは、遊ぶだけではなく誤飲やけがの対処法などを教えてくれるサークルもありました。お母さんは誤飲などの知識をいろんなところから拾つてきますが、家でこういう時はこうしてねってお母さんから言ってもなかなか伝わらないので、そういう場があるといいなと思います。</p> <p>あと、もう1つは三沢は妊娠中、プレママクラスとハロベビクラスという2つの母親学級が開催されていて、栄養バランスのとれる食事作り、妊娠中の体の動かし方を教えていただきました。ハロベビクラスは赤ちゃんとの接し方、沐浴の仕方などを教え、両親学級という形ですが、お父さんはほとんど来ていません。私の時は7人中2人しかお父さんはいませんで</p>

	<p>した。プレママクラスがあるのであればプレパパクラスがあってもいいのかなと思いました。そうすると奥さんから知識をもらうのではなく、助産師さんや先輩のパパさんから話を聞くと、生まれてくる子どもの実感がわくのかなと思います。</p> <p>母親はお腹にいるときに少しずつ実感します。私自身、子どもが生まれても、この子は本当に私の子なのかなって思うくらいなので、男性が生まられてきて自分の子なんてすぐには思えないと思うので。はじめの一歩がお父さんとお母さんと違うので、男性が父親として子どもとどう接すればいいのかがわかるような父親学級を開催してもらえばと思いました。</p>
参加者	<p>私は、出産は地元の札幌でした。札幌では父親学級、プレパパクラスがあって、そこに夫と一緒に行き、妊婦体験と沐浴を他のパパと一緒にやっていました。その帰り道から生まれてくる子どもに対しての情熱が変わり、すごく良い経験だったので三沢市でもやってみたらいいのではないかと思います。</p>
市長	<p>生まれる前からイメージを与えないといけないですね。</p> <p>我々の時代は、家庭は女性に任せていたから、なかなか呑み込めないというものもありますけれども、今は共働きが多いから、家事や育児も共同でやっていくというのが必要だと思う。三沢もそんなことも考えながらやっていく必要があると思いますね。</p>

④ 子育て情報の一元化について

参加者	<p>子育ての情報に関してなんですが、三沢市の方で支援センター やイベントとか情報がたくさんあります。自分がその施設に行ったり、三沢市に3か所ある子育てボードを自分の足で見に行ったりしないと情報を得ることが出来ません。今は、ほとんどの人が携帯電話、スマートフォンを持っているので、ホームページにチラシを載せ、イベントをお知らせしてもらえると、天気が悪い時や小さい子どもをつれてわざわざボードを見に行かなくても気軽に情報を手に入れられます。</p> <p>三沢市のマックテレビを利用して「イベントがあります」とか「パパサークルあります」ということを出してもらえると助かります。具体的に、札幌市はホームページと広報紙に支援センターの情報が載っていて、食育とか親子でふれあい遊びなど1年間を通してのスケジュールが載っています。三沢市は翌月のことがわからないので、年間のスケジュールを出していただけだと計画を立てやすく参加しやすいです。</p> <p>あと、子連れの人に役立つ公園マップや防災マップです。震災に備えての簡易おむつの作り方とか非常時の離乳食の作り方などをなかなか知る機会がないです。土日にイベントを開催して、実際に街を歩いて「こういうところが危ないね」とか「こういうところに集まるね」とか、おむつの作り方講習などのイベントや講座を開いていただけたらすごくありがとうございます。</p>
市長	様々ありますね。1年間のスケジュールとか広報も多方面にわたるから、把握しにくいという面があると思うので、そこは研究しなきゃいけないですね。1つボタンを押したら全部出てくるとか、そういうのが必要ですね。
事務局	実は、平成28年1月を予定に、三沢市子ども子育て情報ウェブサイトという総合的な子ども子育てに関する情報をサイトにできるという構築をしております。そこを開くと、民間のイベントや行政情報、保育園や幼稚園の情報を全てそこから得られるように準備を進めております。それが

	できると三沢市のホームページに子育てサイトの窓ができるという形になります。今、ホームページもスマートフォンに対応できるよう構築を進めているところですので、もう少しお待ちいただければご希望のものができると思います。
市長	準備はしていますけれども、その際こういうものをやつたらどうかというのも今のうちに聞いて対応するようにしたいと思います。やはり利用する側の意見も聞いて、こっちで一方的にやってもダメですからね。率直なご意見をいただければ検討いたします。
参加者	まち・きらきらセミナーの受講生が試作品をみて、意見や提案をし、より良いものを最終的に作り上げていけるといいですね。
市長	ありがとうございます。みなさんから代弁してもらってね。

⑤ こども医療費について

参加者	子ども医療費について市長のお考えをお聞きしたいです。
市 長	<p>制限を付けた対応をしているのですけれども、これも長年できなかつたのですが、防衛の予算がソフトの面にも活用でき、3年前から中学生まで無料としています。これは三沢の環境整備の中でできるだけみなさんに負担をかけない形で行おうと様々な取り組みをしていますが、その中でも医療の問題、保育所の問題とか軽減すべきものはできるだけ行っています。</p> <p>やはり全く制限なしにすると財政の問題から非常に無理もあります。ただ、内容的にどう改めるとか、なんとか見直しの検討をするつもりであります。</p> <p>しかし、内容的には色々な面で優遇していますので、県内の市の中で全て無料であるつがる市に匹敵するような内容で三沢市も対応しているはずです。</p>
事務局	県内ではつがる市、黒石市が所得制限なしでやっている状況です。対象が黒石市は就学前だけと制限しています。三沢市は中学校卒業まで対象ですが、入院、外来、処方薬、補装具というところまで無料にしているところです。
参加者	<p>このセミナーで三沢市に意見を出す中で、一番多かったのが医療費の無料化という意見です。できれば限度額を上げたり、努力をしたいというようなお話ですけれども、三沢市は、扶養が2人で310万円という制限があります。おいらせ町も310万円と同じですが、おいらせ町は町の財源で実質は無料となっています。六戸町は所得制限がないです。</p> <p>三沢市は素敵なまちで、人も温かいしここに住みたいなと言う方が多いと思います。また自衛隊や原燃さんなどの転勤族の方々がこのまちを気に入つて住み、家を建てたいなと思う人も多いです。その方たちがどこに家を建てるかというとおいらせ町や六戸町です。なぜかというと子供の医療費が無料、おいらせ町は第2子を出産すると5万円、第3子以降は10万円とお祝い金が出たりするからです。三沢市は、第3子以降は米をいただけますが、おいらせ町は現金で支給されています。六戸町では任意の予防</p>

	<p>接種のロタウイルス、B型肝炎、おたふくかぜなど全額負担のものを町の方で一部助成金を出しています。そういった面で子育てに力を入れている印象があるので、三沢市で働いていたり、良いまちだと思ったりしても家を建てて住むのは隣の町というのが惜しいなと思います。そして、隣の町で買い物をし、子どもと遊び、子育てし、その子たちがまたそのまちに残ると、今は子どもも若者もいて充実しているかもしれません、徐々に人口が減ってしまうのではないかと思います。なので、ぜひ無料化までは厳しいとおっしゃっていましたが、他の面で充実して三沢も力を入れていっていただきたいなと思います。</p>
市長	<p>定住化、住みやすいまち、課題はたくさんあると思います。無料化とか土地が高いとか様々条件がありますが、何が一番住みやすいまちになるのか。全てはできませんから、その辺をいろいろ検討しながら、やることはきっちりやっていくと。</p> <p>三沢は土地が高いですが、それなりの価値があると思います。南ニュータウンを水道、下水道完備して6万弱で販売したら、すぐに完売したという経過があります。隣のおいらせ町も六戸町も土地が安いけれども、行ってみたら水道が高いということや教育の問題とか。実は三沢によその自治体から小中学校に来ているのが去年は90何人です。おそらく今年もそのくらいの人数が通っていると思います。</p> <p>そういった教育の問題など様々な要素がありますので、何をどうするかというのが行政の課題であります。みなさまのご意見を十分尊重しながら考えて参りたいなとそんな思いであります。</p>
参加者	<p>医療費ですが、先ほど財源を努力してくださって中学生まで無料とおっしゃっていましたが、病院にかかる数は0歳から3歳までのお子さんが多いです。それ以降になると多いには多いですが、歯医者などです。今、ここにいるママさんは、おじいちゃん、おばあちゃんもいなく、ママとパパ2人だけでみている家が多いです。そういう中、病院に行きたいのに自衛隊や転勤族の方に限って所得が多いから医療費がかかり、病院に気軽に相談に行けません。中学生まで無料にするのではなく、所得制限なく、少な</p>

	くても小学生になるまで無料にするとか、財源の使い方をもう少し考えていただけるといいのかなと思います。小・中学生は寒くても半袖短パンで走っているので、自己治癒力で治せたりすると思うのですが、0歳1歳2歳は熱が上がればとても心配です。鼻水が出てしまっただけでも心配で病院に行ってしまいます。
市長	そういう点を手厚くするといいかもしれませんね。
参加者	せめて小さいうちだけでも所得制限なしにしてほしいと思います。
参加者	子ども医療費に関しては、今は対象が浅く、もらっている方は長くもらえます。うちも医療費はあと1人産んだら無料になりますと言われましたが、無料になりました。あと1人産めばと無料、あと1人産めば…となるといったい何人産まなければいけないのかとなるので、他の方が言ったように年齢を制限して多くの人にというのは検討していただければと思います。無料の人はちょっと薬局で買えるものでも病院に行けばタダです。市立病院に緊急で行っても、かかりつけ医で済むような人もいっぱい来ています。制限を変えることで病院もスムーズになるのではないかと思います。

⑥ 木育について

参加者	<p>木育についてです。木育とは幼児から木材との関わりを深め、豊かな暮らしづくり社会づくり森づくりに貢献する市民の育成を目指す活動で、2004年北海道から生まれました。木育の木材の優しさを知るには、0歳から木のボールに触れ、感じる。ステップ2で2歳辺りから木材を使ってつみき遊び、その木材を見て学んで知る。ステップ3で5歳あたりから木のことを理解して行動する。木の自然体験、森の幼稚園などの活動です。</p> <p>今、木育広場は全国に広まっていて、現在、青森、弘前、八戸、十和田にあります。青森の木育広場は駅から5分、天候や気候に係わらず、子どもが素足で木のぬくもりを楽しめる場の提供として、親と子のコミュニケーションを深めるお手伝いをしています。弘前のヒロロは支援センターと木育広場、親子カフェが併設されていて、カフェは素足のまま行けるようになっています。</p> <p>ヒロロは咀嚼相談、発達相談、体の相談、心の相談、1歳6か月検診、4歳検診とかができるようになっています。0歳から3歳までは1時間500円で託児ができるようになっています。三沢にはそういう施設がないのでやってもらえるとありがたいです。十和田はトワーレの中でワークショップとか託児親子スペースがあるので、これからできる「こども館」へ取り入れてほしいなど。そこには授乳室、子ども用トイレ、ミルク用のお湯が準備されています。ミルクを忘れた人への無料提供もおこなっているようなので、そういうのもあるといいなと思います。</p>
参加者	市長もお孫さんを連れて、十和田の木育広場とかに見学に行ってみてはいかがでしょうか？

参加者の感想

私が今日の参加者と同じくらいの歳の時は、子育てに必死で、一人で悩みノイローゼ気味になりながら必死でした。今日の参加者はもうこの若さでありながら、自分の悩みと社会の関係性を築いていてすごく健全でしっかりしているなど、感心します。若い世代の人たちが三沢に誇りをもって、楽しく三沢に住んでいっていただければいいなと思っています。

市民との協働で出てきたことを進めていければすごくいいなと念願しています。私たちも民間としてイクメン・カジダン、イクボス、ママたちの支援、おばあちゃんおじいちゃんの孫の世話などいろんな面から支援できるように広報広聴課さんと協力して進めていければなと思います。どうぞよろしくお願ひします。

お時間ありがとうございます。こういう場は初めてですし、市長さんとこういう意見交換会をする機会なんてないと思っていたので。いつも市の広報で「市長室より」で、市長さんが優しい方というのはなんとなくわかつっていたのですが。今日も緊張していたのですが、楽に自分の意見を言えて良い時間でした。

本日はありがとうございました。こういうセミナーを開いて、女性同士、母親同士意見を交換する機会がなかったので、こういうことを企画した三沢市の職員の方の企画力がすごいですし、それに答えてくださり、こういう場を設けてくださる市長もすばらしいなと思います。三沢市は絶対子育てに優しいまちになっていくと思うので、ぜひこれからもよろしくお願ひしたいなと思いました。ありがとうございました。

こういう場に参加したのが初めてなので、こういう場を設けていただけて感謝しています。また、機会があれば参加したいと思います。ありがとうございました。

私もこのように市長さんとお話しできる機会が三沢に住んで1回もないと思っていたので、こういう機会があつてすごくびっくりしています。このような機会が年に1回でもあり、子どもをもっているお母さんの意見が少しでも通れば住みやすいまちになるのかなと思うのでこれからもよろしくお願ひします。

今日はありがとうございました。こういう貴重な時間をいただけてすごく良い時間が過ごせたなと思います。毎年、子育てをしているママたちの意見を聞いていただけるような機会が続いていけば、今も住みやすいまちですが、三沢市がより素敵

なまちになると思うのでよろしくお願ひします。

自分の子育てで精いっぱい、子育てしか考えていなかったのですが、子育ては終わるものであり、その後は生きていくために自分と地域と地域社会の中でのつながりとか、自分の生き方を見直すきっかけとなったので、本当にこのセミナーに感謝しています。ありがとうございます。

今日は貴重な時間ありがとうございました。子どもの医療費とか知らないことを知れたので、素敵な時間が過ごせました。ありがとうございます。

本日は、お時間をいただきありがとうございました。いろいろ言いましたが、三沢市は特に悪いわけではなく、イベントも多いですし、公園も多かったり、遊びに行ける所が多かったり、非常に良いまちだと思います。

あと保育園の教えているレベルも高いので良いと思います。良いながらも、公園が多くても天気が悪い日が多いとせっかくある公園が使えない日が多いとか、保育園もたくさんあるけれど、支援センターが少ないと、良いけれどもう少し直して欲しいところがあるので、そのあたりをこのような機会をとおして、役所だけで悩まないで、市民の声をたくさん聴いてより良いものにしていただきたいです。

これから作っていただける「こども館」もなるべく多くの市民の声をくみ上げていただいて。せっかく作ったのに、使いづらいねというようにならないようにしていただければと思います。本日はありがとうございました。

今日の皆さんには大変素晴らしいと思います。セミナーが始まった1日目は普通のママさんたちでした。こういう場を設けても果たして意見を言えるかなとちょっとドキドキしていたのですが、自分の意見を社会の問題として述べる事ができて、きっと三沢市のリーダーになっていってくれる人たちではないかと思っています。市長さんの言葉の中で「当事者からの率直な意見が必要だ。市からの一方的な一方通行にならないようにしたい。」ということをおっしゃっていて、とてもうれしいなと思いました。私たちも頑張っていきたいと思いますので、これからもどうぞよろしくお願ひいたします。

5. 市長所感

今日は大変ありがとうございました。子育ての真っただ中に頑張っているみなさんの生の声を聞けてこういうことを考えているんだな、あるいはこういうことが必要なんだなということが良く分かりました。「こども館」の建設については課題を抽出しながら色々と取り組んではいますけれども。第1線で頑張っているみなさんの生の声が非常にありがたかったなと思います。対応の仕方もいろいろあるのではないかなという感じがしました。

実は今から1ヶ月くらい前に、小学校の生徒から手紙をもらいました。公園はいっぱいありますが、物が足りない。ターザンロープが欲しいという願いを手紙に書いてくれました。それは全部の公園にあるわけではなく、あるところもないところもあります。今のところなかなか全部には設置はできませんから、あるところに行って楽しんでほしいというように返事は出しました。非常にうれしかったです。そういう生徒がいるということですね。すばらしいなとそんな思いをしました。

いずれにしましても、少子高齢化、人口減少は日本の大きな課題であります。なんとしてもこれと向き合っていかなければならぬ課題です。今までご意見を頂戴したこともあります。しかし、今日こうして皆さんからご意見を聞いて、「なるほどな」と思うこともございました。市政はなんでもかんでも対応できるわけではありませんが、何が必要か、最大公約数をしほって、市政運営、とりわけ人口減少に歯止めをかけるような努力をしていかなければならぬなど。中でも女性の方々が安心して産み育てる環境を1つでも2つでも加えながら良いまちにするべく汗を流して参りたいとこのように思っております。今後ともよろしくお願ひ申し上げたいなと思いますし、また機会があれば、もっと多くの方々を交えて話ができれば非常にありがたいなと思っております。よろしくお願ひします。ありがとうございました。

6. 閉会

司会

市長、今日はお忙しい中、お時間をとっていただき本当にありがとうございます。参加のみなさんには第1回目の講座の時に The personal is political. 「個人的なことは社会的なこと」ということを、ちょっとお話をさせていただきましたが、まさしくそれを理解し、自分一人一人が社会を変えていくんだという気持ちでいろんな発言をしていただきました。本当にありがとうございます。今日はみなさん、意見とか要望が多かったのですが、次はこの方々がまちづくりを進める担い手として一歩進んでいけるのではないかと思っておりますので、ぜひ市長もみんなの意見を聞きながら、まちづくりに取り組んでいただければ大変ありがたいと思います。本当にお忙しい中、ありがとうございました。それではこれをもちまして、市長と一緒にパートナーサロンを終了させていただきます。